6月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和6年6月4日(火)

午前9時30分～

地域交流センター第3・4研修室

出席委員 職務代理 小山正文 委員 高野羊子
委員 坂口曜子 委員 小松小百合
出席職員 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学教頭 滝沢聖二
筑北中学校長 臼井伸明 教育長 加瀬浩明
次長 宮下信俊 係長 臼井太津男 主任 高野智弘

一 開会(宮下教育次長)

令和6年6月の麻績村教育委員会定例会を始めます。よろしくお願いいたします。

二 教育長挨拶(加瀬教育長)

教育長: 皆さんおはようございます。先週の土曜日は小学校の運動会が行われ、天候にも恵まれ大変素晴らしい運動会でした。お疲れ様でした。今日は伊藤校長先生が会議で出張のため、教頭先生が代わりに出席をいただいております。よろしくお願いいたします。それでは6月の定例教育委員会を始めさせていただきます。

三 報告

1) 教育長報告

宮下次長: 報告事項に移ります。教育長報告をお願いします。

教育長: 冒頭にもお話した通り1日に小学校の運動会が開催されました。前日まで天候が悪くて非常にグラウンドコンディションも心配でしたが、先生方で丁寧に整備をしていただきました。開始時刻を少し繰り下げての実施となりました。本当に良い運動会だったと思っています。無事に開催できて本当にありがたく思います。先生方もお疲れ様でした。「主人公は君だ」というスローガンのもと、子供たちは本当に生き生きと楽しそうに、どちらかというと順位を争うという感じではなく、みんなで作り上げていくというような新たなスタイルだなと思いました。子供たち一人ひとりが、生き生きと活躍する場面があるというのは非常にいいなと感じました。いろいろなことに子供たちが参画して、子供たちのアイデアが取り入れられて

運動会が作り上げられたのではないかと思います。これからはテーマにもあるように、子供たちが主人公で進めていく中で作り上げられていく形がいいのではないかと思います。保護者の皆さんや地域の皆さんも大変満足されたのではないかと思います。ありがとうございました。

市町村教育委員会の連絡会が5月にありました。県教育委員会から資料に挙げてある9項目についての指導がありました。とにかく綱紀粛正、教職員の非違行為防止についてかなり県教育委員会が力を入れていることがわかりました。昨年あたりも交通事故等を含めていくつか問題がございました。特に先生方の交通事故等がだいぶ多発しているという話もありました。車で来られる人がほとんどだと思いますので、十分注意するよう校長先生からご指導いただければと思います。

また情報セキュリティのことで個人情報が入りに漏れてしまうということが県内で昨年は発生しています。個人情報の保護に関しては、強く言われているところでありますので、よろしく願いいたします。

それから小中学校において確認していただいているので問題ないかと思えますけれども、先生方の教員免許の確認をしっかりとすることです。更新をしなければならぬのに、それが切れてしまったりする状況があるということです。また教員採用試験を受験する先生方がいらっしゃるようであれば、採用選考に万全の状態でご臨めるようにご配慮いただけるとありがたいと思えます。

最後になりますけれども、学校における先生方の働き方改革ということが非常に言われています。教職員の勤務実態調査があると思えますが、先生方は本当に無理をなさらず、働き方改革の推進をしていただきたいと思います。今まで部活動においては非常にご苦労いただいていたわけですが、こういった小さな村なので受け皿がなく、思い通りにまだ進んでいない状況ではあります。先生方の負担軽減ができればと思っております。

5日から6月の定例議会が始まります。7日の一般質問では、教育委員会に関わる部分でいくつか出ております。また後ほどお話をさせていただきたいと思います。議会が始まるということをご承知いただければと思います。

それから中学校の給食試食会にご招待をいただきました。ちょうどこの日が一般質問の日で、教育委員の皆様に参加をしていただいて、状況を見ていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

県のスポーツ文化連絡協議会というのが開催され、今回で5回目になります。私も市町村教育委員会の代表で委員として選ばれています。文科省では令和7年までに部活動を地域に移行していくという取り組みをしています。しかしながら長野県としては、それには間に合わないということ

令和 8 年を目標になんとかそういう方向へということで動き始めています。また県のスポーツ課もそれに合わせてということで、来週か再来週になると思いますけれども、我々の方にお越しいただいて具体的な方策等について懇談をしていきたいと思いますということで動き始めているということだけご承知ください。

おみっこ元気くらぶが延期となっておりますが、いよいよ活動を始めるということで動いていきたいと思えます。以上簡単でありますけれども報告とさせていただきます。以上です。

宮下次長： 只今の報告についてご意見等ございましたらお願いします。続いて子育て支援コーディネーター報告に移ります。

2) 子育て支援コーディネーター・保育園長・学校長報告

高野 CO： (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長： それでは続いて保育園長報告に移ります。

塚原園長： (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長： それでは続いて小学校長報告に移ります。

伊藤校長： (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長： それでは続いて中学校長報告に移ります。

白井校長： (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長： それぞれからご報告いただきましたが、委員の皆様からご質問等ありますか。

小山職務代理： 小学校の運動会ありがとうございました。グラウンドの整備ご苦労様でした。そこで、PTAの方々も一緒に対応できるとよかったのかなと思えました。子供たちの面倒を見ながら大変ご苦労されているのを見ましたので、保護者の方にもお伝えされるとよかったのかと思えました。

滝沢教頭： 当初の雨天順延の場合にはPTAの方にも来ていただいて手伝っていただ

くという案もありました。しかし、私の判断になりますが、当日の様子から十分職員のみで対応できると判断しました。子供たちの登校に関しては30分程度の遅れで開催できると学校長と係とで判断しました。ありがたかったのは、実際に私たちが動いていると保護者の方たちから「手伝うよ」と言って手伝っていただいたり、教育員の小松さんが一緒に手伝ったり助かりました。本当にありがとうございました。

坂口委員： 子供たちから運動会の話を知ると、自分たちで考えた案をいろいろやってみたという話でした。高学年のフラッグの振り付けは、自分たちで考えてたそうです。曲に合わせて振り付けができる力が小学生ってあるんだなと見ていてびっくりしました。また、走るのが苦手な子がいるから、あれこれ考え工夫したそうです。苦手な子がいるから得意な子がカバーしようというリレーが良くて、今はお互いを認め合いながら学校の活動が出来ていることがありがたく感じました。

小松委員： 保育園だよりいつも楽しみにしています。本当に良い活動をしているなと見ています。家庭や地域でもなかなかできないような活動を取り入れて行っていることに感動しています。

それから、小学校の運動会ですが、今年は子供たちが積極的に関わっているなど見て感じ取ることが出来ました。応援する姿もとっても良かったです。

中学校の職場体験ですが、この時の体験が将来の仕事につながる可能性やこれからの子供たちの生きる力を支えていくものになるかと感じています。

四 協議事項

- 1) 教職員の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わし
(県教育委員会⇄村教育委員会)

教 育 長： 県教育委員会と市町村教育委員会で教職員の人事に関する了解事項というものがあります。長野県教育委員会の方針として教職員の人事等について基本的には「教員の人事についてはこれを校長に立案させることが望ましい」ということになっています。特に中学校に関しては、教科で動くので非常に複雑で難しい状況にあります。校長先生は、いろいろな条件の中で考えていかなければならないということで、これから苦勞して決定していくわけです。その細かな動きの中で、この覚書ということで県教育委員会と市町村教育委員会が了承してこの方針でやっていきたいと思いますという

ことで、お互いに了解をするということになります。互いに署名し押印をしてその書類を取り返すことになっています。麻績村教育委員会としてこの覚書に沿って先生方の人事を進めていただくということのを了承していかどうか、ここで皆さんのご判断をいただきたいと思います。何かご質問があればお願いします。

このような方向で麻績村教育委員会として進めていってよろしいでしょうか。ありがとうございます。

2) 令和6年度 就学援助対象児童・生徒の認定について【概要説明】

高野CO: 就学援助につきましては年2回の支給となっています。内容につきましては学用品の購入費、修学旅行の積み立てそれからICT通信関係の費用の補助というようなどころがあります。以上です。

教育長: 本日の協議事項は以上となります。その他委員さんから何かございましたらお話しいただきたいと思います。

五 その他

1) 各委員から

高野委員: 高校へ進学したのに授業などについていけず学校を辞めて違うところへ行くという人があります。しかしながら保護者同士で連絡を取り合ったり、友達同士で連絡を取り合ったりして励ましあっています。このように身近な所で情報交換しあえるこの地域はいいなと感じます。

坂口委員: 学校も保育園もいろいろな行事がどんどん変わってきていて、親としてとても嬉しいです。行事は縮小傾向にありますが、普段見えない子供の姿を見られるので、親としては今後も続けていってもらえるとありがたいです。

小松委員: 中学校を卒業してからの子供たちが見えづらくなっています。いつまでも心配は尽きませんが、できるだけ手を打てるところは手を打っていききたいなと思います。

小山職務代理: 教育長報告の中の市町村教委連絡会の内容で個人情報もありましたが、基本的にUSBメモリの自宅持ち帰りは禁止かと思います。また先生の働き方改革ということで持ち帰りの仕事があれば身も心も休まらないかと思います。勤務時間内での仕事が完了できるようご指導お願いします。

それからもう一つ ICT 教育が進められていいのですが、その一方で最近話題になったのは、新卒で比較的短い期間で退職してしまう人があるそうです。原因の一つは人と話せないことということだそうです。なので古いことも生かしながら ICT などの新しいことも工夫しながら進めていってもらえればと思います。

2) 事務局から

・麻績村議会 6月定例会における一般質問について

教育長: 事務局より連絡事項をお願いします。

宮下次長: 6月定例会における一般質問通告事項になります。飯森議員の児童生徒通園通学バス利用の件になります。それから教育委員会関係では、塚原議員から子ども子育て支援事業に関していただいています。「子ども家庭センター」設置以降の状況について。また保育園の運営に関する事。それから中学校の部活動地域移行について質問いただいています。

継続協議となっていたバスの関係ですが、委託会社へ村から登下校時間帯のバスの増便を要望してあった案件になります。先月末、総務課に回答がありました。この場で良い報告ができればと思っていたのですが、結果から申し上げますと、運転手問題で対応できないと回答がございました。翌日に伊藤校長へ私からその旨伝えさせていただきました。特に下校のバス待ちの時間が長くなっていますので、改善していかなければと思っています。我々としても検討しながら村側と折衝して、何とか子供たちの教育環境の改善に努めてまいりたいと思います。

・部活動地域移行に係る筑北村との連携協議について

宮下次長: 筑北村との連携ということで、筑北中学校だけでは活動に参加する規模も限られてきます。そこで筑北村の教育次長をお招きして5月30日に、我々事務局同士で打ち合わせ会を行いました。5月28日に中信教育事務所で部活動地域移行のWeb会議がありました。各市町村の取り組みの状況や新しい情報をいただいたところであります。来月には教育長が委員を務めておられる県の部活動地域移行の会議があります。そこからの情報を受けて、麻績村と筑北村の各中学校長及び教頭を含めて打ち合わせの場を設けさせていただければと考えております。

・6月20日の小中音楽コンサートについて

白井係長: このコンサートにつきましては、麻績スクールパートナーズの委員長よりご紹介を受けた講師の方に非常に安価で来ていただけるということになり、昨年度末からいろいろと計画してきました。講師の先生方のプロフィールがありますが、大室さん齋藤さんともに東京藝術大学を卒業され、ドイツを中心にヨーロッパ等で活躍されているピアノとバイオリンの方であります。県内この付近でコンサートがあり、その合間を縫ってこちらにも来ていただけることになりました。本物の音をカジュアルに聞いていただく体制をとります。演奏者の方につきましても生の音に楽しく触れていただきたいということでもあります。あえて高いステージからのコンサートという形ではなく、フラットな所でやっていきたいともおっしゃられていました。各小中につきましてはいろいろなお手数ご迷惑かけるかと思いますがけれどもよろしく願いいたします。以上です。

教育長: ここまでのところで何か質問ございますか。

坂口委員: バスの件になります。全員が早く帰るときはバスを出してもらっていますが、これが毎日となると難しいということですね。

宮下次長: 今それを含めて検討しているところです。

教育長: バス会社とも折衝してきました。しかし、全国的にもそうですが、運転手不足でどうにも回らないという状況だそうです。これで終わりということではなく、引き続き運転手探しに動いていきます。検討しながら一生懸命やっているという状況だということでご承知おき願います。

3) 次回予定

次回の定例教育委員会の日程 7月1日(月) 午前9:30～

六 閉会

教育長: 以上をもちまして6月の定例教育委員会を閉じます。